

令和2年度

事業計画書

公益財団法人たましん地域文化財団

# 事業体系

I. 事業計画の概要	( 1 )
II. 公益目的事業	( 1 )
III. 収益目的事業	( 8 )
IV. 管 理	( 9 )
事業計画の内訳	( 10 )
1. 美術館・ギャラリーの運営事業(公1)	( 10 )
(1)企画展覧会 ①たましん美術館	( 10 )
②たましん歴史・美術館	( 10 )
③たましん本店2階ギャラリー	( 11 )
(2)調査・研究・収集・保存	( 11 )
(3)美術講座・美術教育	( 12 )
(4)地域との連携	( 13 )
(5)広報・普及活動	( 14 )
2. 『多摩のあゆみ』の刊行と歴史資料室の運営事業(公2)	( 15 )
(1)『多摩のあゆみ』の刊行	( 15 )
(2)刊行物の発行	( 15 )
(3)歴史資料室の運営	( 16 )
(4)多摩の歴史講座	( 16 )
(5)地域とのネットワーク強化	( 16 )
(6)「多摩金融史」関係資料の整理	( 17 )
(7)広報・普及活動	( 17 )
3. 物品販売事業及び喫茶事業(収1)	( 18 )
(1)物品販売事業	( 18 )

## I. 令和2年度 事業計画の概要

公益財団法人たましん地域文化財団は、多摩地域で暮らす人々に美術や歴史に親しんでいただくこと、そして創作・研究をする方々の支援をすることを使命とし、事業を計画、実施しています。

令和2年度は、当財団にとってステップアップ・転換の年となります。5月に開館する「たましん美術館」(多摩信用金庫新本店・本部棟1階)は、これまで永年にわたり継続してきた地域文化振興への貢献の具現化であり、また、次世代への文化・芸術の伝播・集合拠点ともなり得ると考えます。歴史事業においてもここ数年進めてきた『多摩のあゆみ』や所蔵資料のデジタルアーカイブ化を推進するなど、公益財団法人としての使命を果たすために事業の拡充を図ります。

公1(美術館・ギャラリーの運営事業)では、新たに「たましん美術館」(立川市北口みどり地区)での事業を開始します。幕開けとして、多摩信用金庫と当財団が長年にわたり大切にしてきた「たましんコレクション」の展覧会を実施します。これと並行して2年後の他館等所蔵作品による展覧会開催を見据えての準備や、「たましん歴史・美術館」の今後の取組みについて検討します。

公2(『多摩のあゆみ』の刊行と歴史資料室の運営事業)では、事業の柱である『多摩のあゆみ』の定例の刊行に加え、デジタルアーカイブの一層の充実を図るため、令和元年度の『多摩のあゆみ』バックナンバーの101～120号までの追加に続き、連載にあわせた赤色立体地図、当財団所蔵資料である「絵葉書」約3,000点や地図・チラシを公開します。

また、地域との連携を重視し、公1事業では、ファーレ立川アートやGREEN SPRINGS(グリーンスプリングス)など「たましん美術館」「たましん歴史・美術館」周辺との協力、学校や自治体との交流、支援等を強化。公2事業においても、国文学研究資料館をはじめ、東京都立多摩図書館や東京都公文書館などとの連携をさらに深め、また市史編さん等への協力を通じて、行政各機関とのネットワークを強化していきます。

公益法人として皆さまのご期待に応えていくことが地域における存在意義であると強く認識し、多摩地域の文化・芸術の発展・振興に貢献できるよう努めていきます。

## II. 公益目的事業

当財団の公益目的事業は主に以下の事業、およびそれに付随する事業です。

公1. 美術館・ギャラリーの運営事業(以下「美術」という。)

公2. 『多摩のあゆみ』の刊行と歴史資料室の運営事業(以下「歴史」という。)

### 1. 美術 (公1)

#### (1) 企画展覧会

##### ① たましん美術館

令和2年5月18日(月)に開館し、令和2年度は3会期の美術展を開催します。

1) 「開館記念展Ⅰ たまびらき ―たましんの日本近代美術コレクション―

5月18日(月)～8月23日(日) 開館日数81日 (前期・後期)

2) 「開館記念展Ⅱ 東洋古陶磁展 ―コレクションでたどる東洋のこころ―

9月5日(土)～11月15日(日) 開館日数62日

3) 「開館記念展Ⅲ 多摩の作家シリーズ vol.1 多摩の“今”」

11月28日(土)～令和3年4月18日(日) 開館日数104日 (1期～4期)

「たましん美術館」は新築建物内にあるため、美術品に有害なガスの発生を想定しています。文化庁ではそれが消えるまで、一定の「枯らし期間」を必須としています。当館ではその間は作品への影響に十分に配慮を行いながら「たましんコレクション」にて展覧会を行います。

② たましん歴史・美術館

令和2年度は、2会期の美術展を開催します。

1) 「たましんコレクション展Ⅰ」 7月11日(土)～12月13日(日) 開館期間132日

2) 「たましんコレクション展Ⅱ」 令和3年1月9日(土)～5月9日(日) 開館期間101日

なお、6月28日(日)までは「たましんコレクション展 一線からはじまる。」を継続開催します。

③ たましん本店2階ギャラリー

たましん本店2階に設置されるギャラリーの展示について当財団が支援します。地域貢献スペースとして、多摩地域の美術大学学生作品等の若手作家作品の展示を計画しています。

(2) 調査・研究・収集・保存

① 次年度展覧会の準備

「たましん美術館」および「たましん歴史・美術館」の次年度に開催する展覧会の準備を行います。「たましん美術館」については次年度も「枯らし期間」となります。また合わせて、令和4年度開催展覧会の企画・調査を実施します。

② 作家研究・データベース構築

倉田三郎、関頑亭、佐藤多持をはじめ多摩地域で活動してきた作家の調査・研究を行うとともに、データベースを構築し、以下のような将来の展覧会開催時の基礎データとします。

- ・松村健三郎、小貫政之助等の多摩の作家
- ・次世代展(多摩地域を拠点とする4美術大学の卒業生や若手作家等)

③ 資料の収集

多摩地域の重要な作家の資料、多摩地域の美術に関する図書等を継続的に収集します。

④ 作品収集の検討

美術館として必須事項である作品収集について検討します。

⑤ 作品の修復及び額新装

展覧会での展示にあわせ、作品の額新装、マット新装を行います。また修復が必要な作品については、専門業者による作品修復の実施について検討します。

### ⑥ 資料保存環境の整備

資料保存環境整備について継続して実施します。展示室及び収蔵庫の温湿度測定、光量測定を実施するほか、文化財 IPM(総合的有害生物管理)による定期的な害虫測定を行います。また定期的に収蔵庫内の清掃を行い、資料保存備品を整え、資料を適切な環境で保存します。

### ⑦ 所蔵作品のフィルムデータの整備

令和元年度に引き続き、所蔵美術品のデジタルアーカイブ化を進めます。

### ⑧ 美術図書資料

収蔵作家および多摩地域に関連した美術資料の充実を図ります。整理作業を定期的に行い、配架します。

## (3) 美術講座・美術教育

各展覧会の開催に当っては、入館者に作品に親しみ、理解を深め、愉しんでもらうことを目的に、作品解説や、イベントを実施します。

### ① ギャラリートークの開催(たましん美術館)

- 1) 開館記念展Ⅰ たまびらき ーたましんの日本近代美術コレクションー  
5月30日(土)、7月18日(土) 各回14:00～  
・担当学芸員齊藤全人が展示作品の解説を行います。
- 2) 開館記念展Ⅱ 東洋古陶磁展 ーコレクションでたどる東洋のこころー  
9月19日(土)、11月7日(土) 各回14:00～  
・担当学芸員藤森梨衣が展示作品の解説を行います。
- 3) 開館記念展Ⅲ 多摩の作家シリーズ vol.1 多摩の“今”  
12月20日(日)、令和3年1月31日(日)、3月7日(日)、4月11日(日)  
各回14:00～  
・担当学芸員杉本藍が展示作品の解説を行います。

### ② トークイベント、体験型イベント

- 1) 開館記念展Ⅰ たまびらき ーたましんの日本近代美術コレクションー  
ア) トークセッション「多摩の館長座談会」(仮題)  
登壇者:藪野健氏(府中市美術館館長)ほか、多摩地域の美術館の館長を予定  
イ) ワークショップ「〈〇〇賞〉を作っちゃおう！」 幼児・親子～小学生向けイベント  
8月に2回開催予定
- 2) 開館記念展Ⅱ 東洋古陶磁展 ーコレクションでたどる東洋のこころー  
ア) 講演会「やきものの歴史」(仮題)  
10月開催を予定  
イ) ワークショップ「マイカップ作り」  
10月開催を予定
- 3) 開館記念展Ⅲ 多摩の作家シリーズ vol.1 多摩の“今”  
ア) トークイベント「作家と語る」  
12月、令和3年1月、2月、3月の4回開催を予定

#### (4) 地域との連携

##### ① 学校との連携

###### 1) 地域の小中学校との連携

平成 30 年度より実施している作品鑑賞のアウトリーチ事業を行います。

- ・計 10 回(5校×2回)を予定
- ・多摩地域の小・中学校を募集の対象とする

###### 2) 美術大学との連携

ア) 多摩地域の美術大学の学生に対し、美術館運営の体験機会提供を目的に、当財団の教育普及事業の補助のお手伝いをいただきます。

イ) 地域の美術大学との人的交流を通して、将来の連携企画等へ繋げていきます。

##### ② たましん美術館周辺地区との連携

立川駅北口エリアをアートの楽しめる地域として、皆さまに楽しんでいただき、また「賑わいの創造」へと繋げるため、周辺地域との交流を図り、様々な連携企画を実施していきます。

- 1) GREEN SPRINGS(グリーンスプリングス)との連携
- 2) ファーレ立川アートとの連携
- 3) 国営昭和記念公園との連携
- 4) 国文学研究資料館との連携

##### ③ たましん歴史・美術館周辺地域との連携

###### 1) 美術講演会

くにたちギャラリーネットワーク、(公財)くにたち文化・スポーツ振興財団との共催事業として美術講演会を行います。地域の方々に美術に関する知識を深めてもらうことを目的とし、令和2年度は東京五輪 2020 の開催にあわせ「西洋文明とオリンピックのルーツ:古代ギリシャの美術と文化」と題して3回の講座を予定しています。

第1回 6月24日(水)「エーゲ海文明の曙」

第2回 7月1日(水)「アルカイック時代とオリンピック」

第3回 7月8日(水)「クラシック時代とヘレニズム時代」

講師 齋藤陽一氏(元NHKプロデューサー、美術ジャーナリスト、美術史学会会員)

会場 くにたち市民芸術小ホール

募集人員 毎回75名(延べ225名)

受講料 無料

##### ④ 多摩地域内美術館との連携

府中市美術館、八王子市夢美術館、武蔵野市立吉祥寺美術館、町田国際版画美術館等の多摩地域にある美術館との交流を図り、連携企画や将来の当館展示企画への支援等に繋がっていきます。

##### ⑤ 他地域の美術館との対外交流

小規模館を中心に全国の美術館と交流し、将来の巡回展、共催展等に繋がっていきます。

## (5) 広報・普及活動

### ① 広報活動の実施・広報手段の拡充

たましん美術館の開館を契機として、財団ホームページの再構築を行い、展覧会情報等の公開の有効性を高めていきます。

また、来館促進を図るため、ポスター・案内はがき・チラシ等の送付、ケーブルテレビおよび新聞社や地域誌などの地域向けメディアへの情報提供を引き続き積極的に行います。

### ② 配布先の検証

今年度もポスター・案内はがき・チラシ等の送付先は一律とはせず、展覧会の企画内容に応じて変動させます。またその効果の検証を行い、随時改善を図ります。

## 2. 歴史（公2）

### (1) 『多摩のあゆみ』の刊行

下記に示す通り、各号ごとに特集テーマを定め、各分野にわたり地域の研究者による調査・研究の成果を掲載します。

178号「多摩の歴史アーカイブ」(仮題)	5月15日発行
179号「旧石器時代から縄文時代へ」(仮題)	8月15日発行
180号「現代の祭りとコミュニティ」(仮題)	11月15日発行
181号「多摩の魚類」(仮題)	令和3年2月15日発行

各号 13,000部を発行し、歴史資料室・財団の各施設、たましん本支店で配布するほか、郵送希望者には定期送付します。また、多摩地域 30市町村の公立図書館・博物館等に贈呈しており、これらの機関でも閲覧できるようにしています。

### (2) 刊行物の発行

#### ① 中島陟(のぼる)文書資料の刊行

越沢明北海道大学名誉教授監修のもと、佐藤収一氏(株式会社サトウ会長)が所蔵している中島陟文書資料を刊行物として発行します。

書名:『箱根土地株式会社と分譲地・学園都市ー常務取締役中島陟文書よりー』

### (3) 歴史資料室の運営

#### ① 歴史資料室の運営

多摩地域の歴史・文化に関する図書、雑誌、地図、絵葉書、写真、チラシ等を収集・整理・公開します。それぞれの分類表に基づいて整理し、新たに入手した図書と雑誌は歴史資料室の新书推荐コーナーに展示するとともに、『多摩のあゆみ』の「入手資料のごあんない」欄に書誌情報を掲載します。また、当財団のホームページでも資料の検索ができます。

### (4) 多摩の歴史講座

#### ① 第24回「多摩の歴史講座」

(公財)東京市町村自治調査会多摩交流センターとの共催事業で、5回の連続講座を実施します。令和2年度で24回目を迎え、テーマとして「デジタル地図を使って多摩の歴史を考える」を予定しています。

会場は昨年同様、多摩信用金庫府中支店4階会議室を借用し、100名を募集します。

受講料は無料です。

#### ② 記念講演会の開催

たましん美術館の開館と『多摩のあゆみ』178号の発行にあわせて、記念講演会を開催します。

講師:ロバート・キャンベル氏(国文学研究資料館館長)

会場:多摩信用金庫本店内会議室(予定)

定員:200名

受講料:無料



## (5) 地域とのネットワーク強化

国文学研究資料館、東京都立多摩図書館や東京都公文書館との連携を深めるとともに、各市の市史編さん事業等への協力を通じて行政各機関とのネットワークを強化していきます。

## (6) 「多摩の金融史」関係資料の整理

『多摩のあゆみ』に連載している「多摩の金融史」は 177 号で 11 回目の掲載となりました。多摩金融史研究会のメンバーが公益財団法人全国銀行学術研究振興財団より学術研究助成を受けたことから、資料整理体制を整えて、多摩信用金庫(旧多摩中央信用金庫、旧太平信用金庫、旧八王子信用金庫)の資料整理、分析を更に進めます。

## (7) 広報・普及活動

### ① 『多摩のあゆみ』発刊、「多摩の歴史講座」開催等告知

『多摩のあゆみ』と歴史資料室の情報を当財団のホームページにおいて公開します。「多摩の歴史講座」はホームページと『多摩のあゆみ』及び、共催先の(公財)東京市町村自治調査会ホームページと機関誌『ぐるり 39～自治調査会だより～』に告知します。

### ② 歴史資料室所蔵資料のデジタルアーカイブ化

本件は、公益財団法人図書館振興財団の助成金事業となったことから、『多摩のあゆみ』に連載中の赤色立体地図画像、歴史資料室所蔵の地図やチラシ 22 点、絵葉書 3,000 余点を順次デジタルアーカイブにて公開します。

### Ⅲ. 収益目的事業

#### 1. 物品販売事業及び喫茶事業（収1）

##### (1) 物品販売事業

たましん美術館に併設するミュージアムショップにて、絵葉書やクリアファイル等の当美術館オリジナルグッズ、また地域との繋がりを大切に、館周辺地域など多摩地域のお土産品を販売します。

## IV. 管理

### 1. 役員及び役員会等に関する事業(定款第4条第9号)

#### (1) 理事、監事及び評議員の任期

- ① 評議員 平成 28 年6月 17 日から就任後 4 年以内に終了する事業年度のうち、  
最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで
- ② 理事 平成 30 年6月 19 日から就任後 2 年以内に終了する事業年度のうち、  
最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで
- ③ 監事 平成 30 年6月 19 日から就任後 2 年以内に終了する事業年度のうち、  
最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで

本年度6月開催の定時評議員会にて、評議員、理事、監事、全員が改選となります。

#### (2) 理事会等の開催

- ① 理事会 年3回
- ② 評議員会 年2回
- ③ 決算監査 年1回

事業計画の内訳

公益目的事業

1. 美術館・ギャラリーの運営事業(公1)

(定款 第4条 第1項 第1号、第2号、第3号、第4号、第5号、第7号、第8号、第9号)

(予算額 12,775 千円)

(1)企画展覧会

①たましん美術館

計画事業 通し番号	計 画				開催 日数	計 画 事業内容及び説明	予算額 (千円)
	事業名	自主・共催	実施期間				
1	開館記念展Ⅰ たまびらき —たましんの日本近代美術コレクション—	自主	令和2年5月18日(月) ～8月23日(日) ※前期・後期		81	新美術館の幕開けを飾る開館記念展では、たましんコレクションの中から選りすぐった日本近代(明治、大正、昭和)の洋画・彫刻の名品を展示します。 明治美術会、白馬会、白樺派や草土社、中村屋サロン、二科会や独立美術協会などの作家たちの作品を集め、新美術館の上質な展示空間で、日本近代美術史の豊かな流れを味わう展覧会を開催します。	
2	開館記念展Ⅱ 東洋古陶磁展 ～コレクションでたどる東洋のこころ～	自主	9月5日(土) ～11月15日(日)		62	開館記念展Ⅱとして、所蔵品の柱のひとつである東洋古陶磁のコレクションを紹介します。 中国・朝鮮・日本の陶磁史を通観しうよう構成されている当コレクションは、地域の皆さまに、気軽に陶磁器の歴史をご覧いただけるようにこの思いで収集してきました。 本展では、中国の景德鎮、朝鮮の李朝、日本の伊万里に代表されるように、悠久の時をこえ人々を魅了してきた名品の数々をご覧いただけます。	
3	開館記念展Ⅲ 多摩の作家シリーズvol.1 多摩の“今”	自主	11月28日(土)～ 令和3年4月18日(日) 1期:11月28日(土) ～12月27日(日) ※12月28日(月)～1月8日(金)は 年末年始展示替えのため休館 2期:令和3年 1月9日(土) ～2月7日(日) 3期:2月13日(土) ～3月14日(日) 4期:3月20日(土) ～4月18日(日)		104	「多摩の作家」シリーズの第1弾となる展覧会です。 「多摩の“今”」をテーマに、多摩地域に在住し、活動している作家たちの作品を紹介します。 各作家の作品は、「たましんコレクション」(たましんギャラリーで展示された作品)と、最新作を並べて展示し、多摩信用金庫が1974年から45年間運営してきたたましんギャラリーの歩み、そして地域文化への貢献という果たした役割の大きさを浮き彫りにしていきます。	7,365

②たましん歴史・美術館

計画事業 通し番号	計 画				開催 日数	計 画 事業内容及び説明	予算額 (千円)
	事業名	自主・共催	実施期間				
1	たましんコレクション展Ⅰ	自主	7月11日(土) ～12月13日(日)		132	たましんコレクションから、特定のテーマを設けて絵画、彫刻、工芸などを幅広く紹介する展覧会を開催します。	
2	たましんコレクション展Ⅱ	自主	令和3年1月9日(火) ～5月9日(日)		101	たましんコレクションから、特定のテーマを設けて絵画、彫刻、工芸などを幅広く紹介する展覧会を開催します。	3,200

③たましん本店2階ギャラリー

計画事業 通し番号	計 画			計 画
	事業名	自主・共催	実施期間	事業内容及び説明
1	たましん本店2階ギャラリー活動の支援	共催	通年	たましん新本店2階ギャラリーの展示活動を支援する。具体的には令和2年度分の展示計画、作家の選定、展示・撤収作業の監督、広報物作成の助言等のサポートを財団学芸員が行う。展示備品、消耗品、印刷などの費用に関してはたましんが負担する。

(2)調査・研究・収集・保存

計画事業 通し番号	計 画			計 画	予算額
	事業名	自主・共催	実施期間	事業内容及び説明	(千円)
1	次年度展覧会の準備	自主	通年	令和3年度にたましん美術館およびたましん歴史・美術館で行う展覧会の計画を立て、その企画に応じた作品・資料調査をすすめます。	790
2	作家研究・データベース構築			たましんの美術事業に当初から貢献していただいていた作家、倉田三郎、関頌亭、佐藤多持を中心に多摩で活躍してきた作家の調査・研究を行います。作家の資料や活動履歴等をデータベースとして構築して、将来の情報発信や展覧会開催のための基礎データとして活用します。特に松村健三郎、小貫政之助等の多摩の作家たちの展覧会開催に向け、調査・研究を進めます。さらに、次世代展の準備や公募展の検討として、多摩地域を拠点とした4美術大学(多摩美術大学、東京造形大学、武蔵野美術大学、女子美術大学)の卒業生等、若手作家を調査します。	
3	資料の収集			倉田三郎、関頌亭、佐藤多持をはじめ多摩地域の重要な作家の資料、多摩地域の美術に関する図書等を引続き収集します。	
4	作品収集の検討			美術館の発展のために作品の収集を持続的に行っていくため、収集方法(購入・寄贈)、対象とする作家、作品の基準、選定委員の発足などについて検討します。	
5	作品の修復及び額新装			展覧会での展示にあわせ作品のマット新装、額新装を行うほか、劣化作品については専門業者による画面修復について検討します。今年度は、平成30年、令和元年度に寄贈を受けた小貫政之助の作品、および劣化の恐れのある遠藤彰子の作品などを検討しています。	
6	資料保存環境の整備			資料保存環境整備について継続して実施します。展示室及び収蔵庫の温湿度測定、光量測定を実施するほか、文化財IPM資料(総合的有害生物管理)による定期的な害虫測定を行います。加えて、定期的に収蔵庫内の清掃を行い、資料保存備品を整え、資料を適切な環境で保存します。	
7	所蔵作品のフィルムデータの整備			前年度に所蔵作品ポジフィルムの整備を完了し近代洋画・工芸についてのデジタル化・新規撮影を行いました。今年度も引き続き、所蔵品目録の作成、他所蔵品の所蔵品のデジタルアーカイブを進めます。	
8	美術図書資料			収蔵作家および多摩地域に関連した美術資料の充実を図ります。整理作業を定期的に行い、配架します。	

## (3) 美術講座・美術教育

## ① ギャラリートーク

計画事業 通し番号	計 画			事業内容及び説明	予算額 (千円)
	事業名	自主・共催	実施期間		
1	開館記念展Ⅰ たまびらき ーたましんの日本近代美術コレクションー	自主	5月30日(土)、7月18日(土) 各回 14:00～	「開館記念展Ⅰ たまびらきーたましんの日本近代美術コレクションー」の関連事業。 担当学芸員 齊藤全人が展示作品の解説を行います。	
2	開館記念展Ⅱ 東洋古陶磁展 ～コレクションでたどる東洋のころ～	自主	9月19日(土)、11月7日(土) 各回 14:00～	「開館記念展Ⅱ 東洋古陶磁展～コレクションでたどる東洋のころ～」の関連事業。 担当学芸員 藤森梨衣が展示作品の解説を行います。	
3	開館記念展Ⅲ 多摩の作家シリーズ vol.1 多摩の“今”	自主	12月20日(日)、令和3年1月17日(日) 3月7日(日)、4月11日(日) 各回 14:00～	「開館記念展Ⅲ 多摩の作家シリーズvol.1 多摩の“今”」の関連事業。 担当学芸員 杉本藍が展示作品の解説を行います。	

## ② トークイベント、体験型イベント

1	開館記念展Ⅰ たまびらき ーたましんの日本近代美術コレクションー 関連イベント	自主	5月	トークセッション「多摩の館長座談会」(仮題) 登壇者： 藪野健氏(府中市美術館館長)ほか、多摩地域の美術館館長を予定。	190
			8月 2回	ワークショップ 「〈〇〇賞〉をつくっちゃおう！」幼児・親子～小学生向けイベント	
2	開館記念展Ⅱ 東洋古陶磁展 ～コレクションでたどる東洋のころ～ 関連イベント	自主	10月	講演会「やきものの歴史」(仮題)	
			10月	ワークショップ マイカップ作り	
3	開館記念展Ⅲ 多摩の作家シリーズ vol.1 多摩の“今” 関連イベント	自主	11月	トークイベント「作家と語る」	
			12月	トークイベント「作家と語る」	
			令和3年1月	トークイベント「作家と語る」	
			3月	トークイベント「作家と語る」	

## (4) 地域との連携

## ① 学校との連携

計画事業 通し番号	計 画			事 業 内 容 事業内容及び説明	予算額 (千円)
	事 業 名	自主・共催	実施期間		
1	地域の小中学校との連携	自主	通年	平成30年度より実験的に実施している作品鑑賞のアウトリーチ・インリーチ事業を継続して行います。令和2年度は、多摩地区の小・中学校(688校)へ募集を行い実施します。(5校×2回=計10回)	290
2	美術大学との連携	自主	通年	多摩地域の大学の学生に、美術館運営事業の機会を提供することを目的に、当財団の教育普及事業に係る補助に関わっていただきます。 地域の美術大学等との人的交流を図ることにより、将来的な連携企画等へと繋げていきます。各美術大学への定期的訪問による教授陣との情報交換等を積極的に行います。	

## ② たましん美術館周辺地区との連携

1	GREEN SPRINGS(グリーンスプリングス)との連携	自主	通年	たましん美術館の周辺地区の施設との交流を図り、様々な連携企画を行っていきます。	
2	ファール立川アートとの連携				
3	国営昭和記念公園との連携				
4	国文学研究資料館との連携				

## ③ たましん歴史・美術館周辺地区との連携

1	美術講演会	共催	第1回 6月24日(水) 第2回 7月1日(水) 第3回 7月8日(水)	(公財)くにたち文化・スポーツ振興財団、くにたちギャラリーネットワークとの共催事業として美術講演会を行います。地域の方々に美術に関する知識を深めてもらうことを目的とし、全3回講演を予定しています。 講演名：「2020年「東京オリンピック」関連企画 << 西洋文明とオリンピックのルーツ: 古代ギリシャの美術と文化 >> 第1回 「古代ギリシャの美術と文化(1)〜エーゲ海文明の曙〜」 第2回 「古代ギリシャの美術と文化(2)〜アルカイック時代とオリンピック〜」 第3回 「古代ギリシャの美術と文化(3)〜クラシック時代とヘレニズム時代〜」 講師：齋藤陽一氏 (元NHKプロデューサー、美術ジャーナリスト、美術史学会会員) 会場：くにたち市民芸術小ホール 募集人員：各回75名(延べ225名)                      受講料：無料	100
---	-------	----	--	---	-----

## ④ 多摩地域内美術館との連携

1	多摩地域内美術館との連携	自主	通年	たましん美術館は、府中市美術館、八王子市夢美術館、武蔵野市立吉祥寺美術館、東京富士美術館など多摩地域内の美術館との交流を図り、将来的な展示企画へ繋げていきます。
---	--------------	----	----	--

## ⑤ 他地区美術館との対外交流

1	多摩地域外の美術館との交流	自主	通年	多摩地区外の全国の美術館の内、たましん美術館と規模を同じくする小規模美術館を中心に交流を図り、将来的な巡回展、共催展などに繋げていきます。
---	---------------	----	----	---

## (5) 広報・普及活動

計画事業 通し番号	計 画			計 画	予算額
	事業名	自主・共催	実施期間	事業内容及び説明	(千円)
1	広報活動の実施と広報手段の拡充	自主	通年	当財団及び美術館案内等のホームページへの展覧会情報公開を継続して行います。 また、来館促進を図るため、ポスター・案内はがき・チラシ等の送付、ケーブルテレビ及び新聞社や地域誌などの地域向けメディアへの情報提供を積極的に行います。	840
2	配布先の検証	自主	通年	令和2年度もポスター・案内はがき・チラシ等の送付先は一律とせず、展覧会の企画内容に応じて変動させます。またその効果の検証を行い、随時改善を図ります。	



2. 『多摩のあゆみ』の刊行と歴史資料室の運営事業(公2)

(定款 第4条 第1項 第2号、第3号、第4号、第5号、第7号、第8号、第9号)

(予算額 18,990 千円)

(1) 『多摩のあゆみ』の刊行

計画事業 通し番号	計 画			計 画	予算額 (千円)
	事業名	自主・共催	実施期間	事業内容及び説明	
1	178号「多摩の歴史アーカイブズ」(仮題)	自主	5月	国文学研究資料館が主催した平成30年度の連続講座をもとに、同館が所蔵している多摩地域にかかわる歴史アーカイブズ(古文書)を、さまざまな視点から紹介します。本特集は、多摩信用金庫の本店移転及び新美術館の開館にあわせて、国文学研究資料館と多摩信用金庫の連携協定をふまえて企画しました。	10,015
2	179号「旧石器時代から縄文時代へ」(仮題)	自主	8月	旧石器時代から縄文時代への移行期について、国重要文化財のあきる野市前田耕地遺跡の出土品をベースに、気候・植生や石器の使用、土器の出現等の視点から解説します。令和元年度の多摩の歴史講座「旧石器時代から縄文時代」をもとにした特集です。	
3	180号「現代の祭りとコミュニティ」(仮題)	自主	11月	従来の親族組織や地縁組織の関係が希薄化するなか、転居してきた住民も参加しやすい祭りが各地で盛んに行われています。祭礼における「獅子舞」「囃子」「神輿」などを通して、各地の祭りとコミュニティの様相を取り上げます。	
4	181号「多摩の魚類」(仮題)	自主	令和3年2月	多摩川などの河川だけでなく、用水や湖沼、田地、湧水など、様々な水環境に生息する魚をはじめとする水生生物の生態を紹介し、環境の移り変わりや人々と生活とのかかわり、生物とのふれあいについて考えます。	

(2) 刊行物の発行

計画事業 通し番号	計 画			計 画
	事業名	自主・共催	実施期間	事業内容及び説明
1	中島陟文書資料集の刊行	共催	通年	越澤明北海道大学名誉教授の監修のもと、佐藤収一氏(株式会社サトウ会長)が所蔵している中島陟(のぼる)文書資料を刊行物として発行します。 協力者：渡辺彰子氏 書名：『箱根土地株式会社と分譲地・学園都市一常務取締役中島陟文書より』(仮題)

## (3) 歴史資料室の運営

計画事業 通し番号	計 画			計 画	予算額 (千円)
	事業名	自主・共催	実施期間	事業内容及び説明	
1	歴史資料室の運営	自主	通年	多摩地域の歴史・文化に関する図書、雑誌、地図、絵葉書、写真、チラシ等を収集・整理・公開します。それぞれの分類表に基づいて整理し、新たに入手した図書と雑誌は歴史資料室の新着コーナーに展示するとともに、『多摩のあゆみ』の「入手資料のごあんない」欄に書誌情報を掲載します。 また、当財団のホームページでも資料の検索ができます。	2,680

## (4) 多摩の歴史講座

計画事業 通し番号	計 画			計 画	予算額 (千円)
	事業名	自主・共催	実施期間	事業内容及び説明	
1	多摩の歴史講座	共催	9月～11月(予定)	(公財)東京市町村自治調査会多摩交流センターとの共催事業で、5回連続の講座を実施します。24回目を迎えた令和2年度は、テーマとして「デジタル地図を使って多摩の歴史を考える」(仮題)を予定しています。 会場：多摩信用金庫府中支店 4階会議室 定員：100名 受講料：無料	355
2	記念講演会	自主	6月(予定)	新美術館の開館と『多摩のあゆみ』178号の発行にあわせて、記念講演会を開催します。 講 師：ロバート・キャンベル氏(国文学研究資料館館長) 会 場：多摩信用金庫本店内会議室(未定) 受講料：無料	

## (5) 地域とのネットワーク強化

計画事業 通し番号	計 画			計 画
	事業名	自主・共催	実施期間	事業内容及び説明
1	地域とのネットワーク強化	自主	通年	国文学研究資料館(立川市)をはじめ、東京都立多摩図書館(国分寺市)や東京都公文書館(国分寺市)などとの連携をさらに深め、また市史編さん等への協力を通じて、行政各機関とのネットワークを強化していきます。

## (6)「多摩金融史」関係資料の整理

計画事業 通し番号	計 画			計 画	予算額 (千円)
	事業名	自主・共催	実施期間	事業内容及び説明	
1	「多摩の金融史」関係資料の整理	自主	通年	『多摩のあゆみ』への「多摩の金融史」の連載は、11回目まで掲載してきました。また、記述内容に関する個人情報のガイドラインを多摩信用金庫と協議しました。多摩金融史研究会のメンバーが公益財団法人全国銀行学術研究振興財団より受けた学術研究助成によって、多摩信用金庫(旧多摩中央信用金庫、旧太平信用金庫、旧八王子信用金庫)の調査・撮影は順調に進捗して、関係資料の分析をさらに進めます。	150

## (7) 広報・普及活動

計画事業 通し番号	計 画			計 画	予算額 (千円)
	事業名	自主・共催	実施期間	事業内容及び説明	
1	『多摩のあゆみ』発刊、 「多摩の歴史講座」開催等 告知	自主	通年	『多摩のあゆみ』と歴史資料室の情報を当財団のホームページにおいて公開します。また、「多摩の歴史講座」はホームページと『多摩のあゆみ』及び、共催先の(公財)東京市町村自治調査会ホームページと機関誌『ぐるり39～自治調査会だより～』などで告知します。	200
2	歴史資料室所蔵資料のデジタルアーカイブ化	自主	通年	公益財団法人図書館振興財団より令和元年度提案型助成事業の助成を受けたことにより、『多摩のあゆみ』に連載中の「赤色立体地図」中の地図画像や、歴史資料室所蔵の地図とチラシ22点、絵葉書3,000余点を、順次デジタルアーカイブで公開していきます。	5,570

収益目的事業

3. 物品販売事業及び喫茶事業(収1)

(定款第4条第1項第9号)

(予算額 1,220千円)

(1) 物品販売事業

計画事業 通し番号	計 画			計 画	予算額 (千円)
	事業名	自主・共催	実施期間	事業内容及び説明	
1	物品販売事業	自主	通年	たましん歴史・美術館で、オリジナルの絵はがきを販売します。 たましんミュージアムショップでは、オリジナルの絵はがきなどの販売のほか、地域の作家の陶器、染物等、各種雑貨等の委託販売を行います。	1,220

令和2年度

収支予算書

公益財団法人たましん地域文化財団

令和2年度収支予算書(正味財産増減ベース)

令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

公益財団法人たましん地域文化財団

(単位:円)

科目	令和2年度 予算額(イ)	公益目的事業会計(内訳表)				収益事業等会計		法人会計	令和1年度 予算額(ロ)	増減 (イ)-(ロ)
		公1	公2	共通	小計	収1	小計			
I 一般正味財産増減の部										
1. 経常増減の部										
(1) 経常収益										
基本財産運用益	4,600,000	0	0	4,600,000	4,600,000	0	0	0	1,890,000	2,710,000
基本財産運用益	4,600,000			4,600,000	4,600,000		0		1,890,000	2,710,000
特定資産運用益	10,000	0	0	10,000	10,000	0	0	0	10,000	0
特定資産運用益	10,000			10,000	10,000		0		10,000	0
固定資産受贈益	0	0	0	0	0	0	0	0	390,000	△ 390,000
固定資産受贈益	0	0			0	0	0		390,000	△ 390,000
事業収益	6,700,000	3,650,000	50,000	0	3,700,000	3,000,000	3,000,000	0	3,320,000	3,380,000
入館料収益	3,550,000	3,550,000			3,550,000		0		1,500,000	2,050,000
図録販売収益	100,000	100,000			100,000		0		1,500,000	△ 1,400,000
出版事業収益	50,000		50,000		50,000		0		50,000	0
喫茶事業収益	0				0	0	0		70,000	△ 70,000
物品販売収益	3,000,000				0	3,000,000	3,000,000		200,000	2,800,000
受取補助金等	4,820,000	0	4,820,000	0	4,820,000					
受取民間助成金	4,820,000		4,820,000		4,820,000					
受取寄付金	65,000,000	1,000,000	0	62,000,000	63,000,000	0	0	2,000,000	61,000,000	4,000,000
受取寄付金	65,000,000	1,000,000		62,000,000	63,000,000		0	2,000,000	61,000,000	4,000,000
雑収益	140,000	0	0	40,000	40,000	0	0	100,000	140,000	0
雑収益	140,000			40,000	40,000		0	100,000	140,000	0
<b>経常収益計(A)</b>	<b>81,270,000</b>	<b>4,650,000</b>	<b>4,870,000</b>	<b>66,650,000</b>	<b>76,170,000</b>	<b>3,000,000</b>	<b>3,000,000</b>	<b>2,100,000</b>	<b>66,750,000</b>	<b>14,520,000</b>
(2) 経常費用										
事業費/管理費(法人会計)	83,540,000	42,430,000	33,840,000	0	76,270,000	2,500,000	2,500,000	4,770,000	68,150,000	15,390,000
売上原価	210,000	70,000	40,000	0	110,000	100,000	100,000	0	1,070,000	△ 860,000
役員報酬	600,000	0	0	0	0	0	0	600,000	550,000	50,000
給料手当	23,170,000	13,540,000	9,150,000	0	22,690,000	0	0	480,000	19,430,000	3,740,000
臨時雇賃金	7,000,000	4,560,000	1,840,000	0	6,400,000	600,000	600,000	0	8,110,000	△ 1,110,000
賞与引当金繰入	1,540,000	1,080,000	460,000	0	1,540,000	0	0	0	1,050,000	490,000
退職給付費用	550,000	260,000	290,000	0	550,000	0	0	0	510,000	40,000
法定福利費	4,200,000	2,470,000	1,650,000	0	4,120,000	0	0	80,000	3,410,000	790,000
福利厚生費	280,000	140,000	80,000	0	220,000	20,000	20,000	40,000	250,000	30,000
旅費交通費	1,620,000	1,170,000	350,000	0	1,520,000	0	0	100,000	1,460,000	160,000
通信運搬費	3,530,000	1,550,000	1,390,000	0	2,940,000	70,000	70,000	520,000	2,480,000	1,050,000
減価償却費	780,000	340,000	150,000	0	490,000	210,000	210,000	80,000	920,000	△ 140,000
消耗什器備品費	330,000	0	200,000	0	200,000	30,000	30,000	100,000	890,000	△ 560,000
消耗品費	1,450,000	780,000	390,000	0	1,170,000	70,000	70,000	210,000	1,110,000	340,000
修繕費	120,000	90,000	20,000	0	110,000	0	0	10,000	120,000	0
印刷製本費	11,900,000	3,550,000	8,050,000	0	11,600,000	150,000	150,000	150,000	9,120,000	2,780,000
燃料費	60,000	30,000	20,000	0	50,000	0	0	10,000	80,000	△ 20,000
光熱水料費	2,240,000	1,860,000	210,000	0	2,070,000	60,000	60,000	110,000	1,540,000	700,000
賃借料	2,210,000	1,330,000	360,000	0	1,690,000	160,000	160,000	360,000	2,180,000	30,000
保険料	970,000	940,000	20,000	0	960,000	0	0	10,000	1,060,000	△ 90,000
諸謝金	1,180,000	180,000	1,000,000	0	1,180,000	0	0	0	1,050,000	130,000
保守管理費	2,020,000	1,640,000	210,000	0	1,850,000	60,000	60,000	110,000	1,030,000	990,000
会議費	560,000	80,000	130,000	0	210,000	0	0	350,000	580,000	△ 20,000
支払負担金	100,000	100,000	0	0	100,000	0	0	0	100,000	0
図書費	300,000	90,000	200,000	0	290,000	0	0	10,000	460,000	△ 160,000
委託費	14,640,000	6,250,000	7,400,000	0	13,650,000	170,000	170,000	820,000	8,440,000	6,200,000
研修費	80,000	30,000	20,000	0	50,000	0	0	30,000	80,000	0
宣伝費	200,000	200,000	0	0	200,000	0	0	0	10,000	190,000
仕入費	800,000	0	0	0	0	800,000	800,000	0	80,000	720,000
諸会費	650,000	80,000	200,000	0	280,000	0	0	370,000	720,000	△ 70,000
交際費	200,000	0	0	0	0	0	0	200,000	200,000	0
租税公課	10,000	0	0	0	0	0	0	10,000	10,000	0
雑費	40,000	20,000	10,000	0	30,000	0	0	10,000	50,000	△ 10,000
<b>経常費用計(B)</b>	<b>83,540,000</b>	<b>42,430,000</b>	<b>33,840,000</b>	<b>0</b>	<b>76,270,000</b>	<b>2,500,000</b>	<b>2,500,000</b>	<b>4,770,000</b>	<b>68,150,000</b>	<b>15,390,000</b>
<b>当期経常増減の部(A)-(B)</b>	<b>△ 2,270,000</b>	<b>△ 37,780,000</b>	<b>△ 28,970,000</b>	<b>66,650,000</b>	<b>△ 100,000</b>	<b>500,000</b>	<b>500,000</b>	<b>△ 2,670,000</b>	<b>△ 1,400,000</b>	<b>△ 870,000</b>
2. 経常外増減の部	0									
(1) 経常外収益	0									
経常外収益計(C)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用	0									
経常外費用計(D)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減の部(C)-(D)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
他会計振替額	0	0	0	174,305	174,305	△ 174,305	△ 174,305	0	0	0
<b>当期一般正味財産増減額</b>	<b>△ 2,270,000</b>	<b>△ 37,780,000</b>	<b>△ 28,970,000</b>	<b>66,824,305</b>	<b>74,305</b>	<b>325,695</b>	<b>325,695</b>	<b>△ 2,670,000</b>	<b>△ 1,400,000</b>	<b>△ 870,000</b>
一般正味財産期首残高	43,466,226	△ 214,633,348	△ 232,869,151	482,030,461	34,527,962	1,880,016	1,880,016	7,058,248	49,811,337	△ 6,345,111
一般正味財産期末残高(E)	41,196,226	△ 252,413,348	△ 261,839,151	548,854,766	34,602,267	2,205,711	2,205,711	4,388,248	48,411,337	△ 7,215,111
II 指定正味財産増減の部										
一般正味財産への振替額	0	0	0	0	0	0	0	0	△ 390,000	390,000
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	△ 390,000	390,000
指定正味財産期首残高	843,872,936	542,393,646	0	300,000,000	842,393,646	1,479,290	1,479,290	0	844,255,914	△ 382,978
指定正味財産期末残高(F)	843,872,936	542,393,646	0	300,000,000	842,393,646	1,479,290	1,479,290	0	843,865,914	7,022
III 正味財産期末残高(E)+(F)	885,069,162	289,980,292	△ 261,839,151	848,854,766	876,995,913	3,685,001	3,685,001	4,388,248	893,883,239	△ 8,814,077